

# 「日本とドイツに見る 異文化の受容と変容」

【第1部】発表1

日本の若者が持つ  
農村地域の認識に  
ボランティア活動が与える  
影響について

テレサ クリスティーナ  
ジーラント

Theresa Christina Sieland

●ハインリッヒハイネ大学  
デュッセルドルフ近代日本研究所博士課程

【第2部】発表3

ソーシャルメディア  
(Instagram)における  
日本とドイツの若い女性の  
自己表現に関する研究

ベラパオラショウダ

Vera Paola Shoda

●神戸大学経済経営研究所計算社会科学  
研究センター助教

【第1部】発表2

ドイツにおける  
宝塚受容の変遷  
—「カブキ」から  
サブカルチャー・  
クィアカルチャーへ—

松本 俊樹

Toshiki Matsumoto

●大阪音楽大学非常勤講師  
立命館大学授業担当講師

【第2部】発表4

日本とドイツの若者の  
エスニック料理に  
対する好奇心  
—ベトナム料理を例に—

ディンティトゥックヴィエン

Dinh Thi Thuc Vien

●京都大学大学院農学研究所  
生物資源経済学専攻博士後期課程

【第3部】全体ディスカッション

モデレーター 吉田 純 Jun Yoshida

●京都大学大学院 人間・環境学研究科教授

2023年 3月8日(水) 16:00~19:20 (受付開始15:00)  
会場 ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川  
オンライン講演(ZOOM)同時開催

※要事前申込 / 参加費無料(会場での参加は先着30名)  
お申し込み方法 山岡記念財団ホームページより  
お申し込みください。 ↓↕  
<https://yamaoka-memorial.or.jp/event/2023/0308-01.html>  
申し込み締切 2023年3月7日(火)12:00迄



主催 一般財団法人 山岡記念財団 〒530-0013 大阪市北区茶屋町1-32 YANMAR FLYING-Y BUILDING Tel:06-7636-0219 Fax:06-7636-0212 E-mail:yamaoka-memorial@yanmar.com



■発表者 パネラー



**テレサ クリスティーナ  
ジーラント** Theresa Christina Sieland

●ハインリッヒハイネ大学  
デュッセルドルフ近代日本研究所博士課程

現在、ドイツでコンテンツ・マネージャーを務めながら、日本の芸術祭を通じた活性化プロジェクトをテーマに博士課程で研究を行っている。

**日本の若者が持つ農村地域の認識に  
ボランティア活動が与える影響について**

本研究では、新潟県で開催されている「大地の芸術祭」や香川県で開催されている「瀬戸内国際芸術祭」の事例をもとに、ボランティア活動が若者の地方に対する認識に与える影響について調査した。

その研究の結果は、このような芸術祭でどんな交流が起きるのかヒントをくれる。尚、現在の活性化活動が今後の「都市VS田舎」の関係性に与える影響が見えてくる。



**松本 俊樹**  
Toshiki Matsumoto

●大阪音楽大学非常勤講師  
立命館大学授業担当講師

研究テーマは1920年代から1930年代の宝塚少女歌劇・宝塚国民座を中心とする近代日本演劇史。同時代の宝塚と新劇などの他の演劇ジャンルとの混交に関心を持つ。

**ドイツにおける宝塚受容の変遷  
—「カブキ」からサブカルチャー・クィアカルチャーへ—**

宝塚は1938年に日独伊親善芸術使節団としてドイツで初の海外公演を行った。日本側（宝塚側）の宣伝もあり、この時には伝統演劇の上演団体（「カブキ」）という扱いで受容されることとなった。一方、現代のドイツでは異性装演劇ということが重視され、そして2.5次元やコスプレなどサブカルチャーの方面で受容されることが多い。少女による「カブキ」という形で始まったドイツにおける宝塚受容が、今日サブカルチャー、そしてクィアカルチャーとして受容されるようになるまでの変遷について考察する。



**ベラ パオラ ショウダ**  
Vera Paola Shoda

●神戸大学経済経営研究所計算社会科学  
研究センター助教

専門は人間情報学。ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機技術の設計や利用方法について研究を行っている。

**ソーシャルメディア (Instagram) における  
日本とドイツの若い女性の自己表現に関する研究**

本研究は、日本とドイツの若い女性のSNS(インスタグラム)の利用状況を明らかにする。具体的には、若い女性の自己表現に焦点を当てる。本研究は、171人の女性テニスのプロとアマチュアのインスタグラムアカウントの内容分析に基づいて、彼女たちの写真による自己表現とその周辺の文脈を分析するものである。本研究の結果、日本とドイツの若い女性の「インスタ映え」嗜好が明らかになった。



**ディン ティトゥック ヴィエン**  
Dinh Thi Thuc Vien

●京都大学大学院農学研究科  
生物資源経済学専攻博士後期課程

博士課程では、海外在住のベトナム人移民の食文化変容がどのような過程を経るのか、そしてそれが移民と受入国の社会の統合にどのように貢献するのか、というテーマに焦点を当てて研究をしている。

**日本とドイツの若者のエスニック料理に対する好奇心  
—ベトナム料理を例に—**

本研究はベトナム料理が受入国の若年層にどのように受容されるのか、そして急増する移民と受入国の社会の間の相互理解や調和のとれた交流を培う媒体としてどのようにはたらくのかを明らかにする。

データは日本とドイツの若者を対象としたアンケート調査とフォーカス・グループ・ディスカッションからなる。結果、若者の視点からみたベトナム料理の姿や、ベトナムの調理法を世界の食卓に導入するためのいくつかの提案が浮かび上がった。

■モデレーター



**吉田 純**  
Jun Yoshida  
京都大学大学院人間・  
環境学研究科教授・  
山岡記念財団諮問委員

■特別協力



**田野 大輔**  
Daisuke Tano  
甲南大学文学部教授・  
山岡記念財団諮問委員



**ビョーン=オーレ カム**  
Bjorn-Ole Kamm  
京都大学大学院文学研究科講師

**感染症予防対策のためご協力をお願いします**

- 施設入口にて検温を実施させていただきます。●マスク着用、手洗い、アルコールなどによる手指消毒をお願いします。
- 風邪の症状のある方、倦怠感、息苦しさなどのある方のご来場はご遠慮ください。●会場内の混雑を防止するため、入場制限、退場規制をすることがございます。ご了承ください。

**【会場】 ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川**

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町19-3

**【アクセス】**

- JR京都駅より～(所要時間 約30分) 市バス4、17、205番「荒神口」下車、徒歩5分  
京都バス17番「荒神橋」下車、徒歩2分
- バス停「四条河原町」より～(所要時間 約15分) 市バス3、17、205番「荒神口」下車、徒歩5分  
京都バス16、17番「荒神橋」下車、徒歩2分
- 京阪電車～ 「神宮丸太町」下車(5番出口)、北に徒歩6分  
「出町柳」下車(2番出口)、南に徒歩8分

